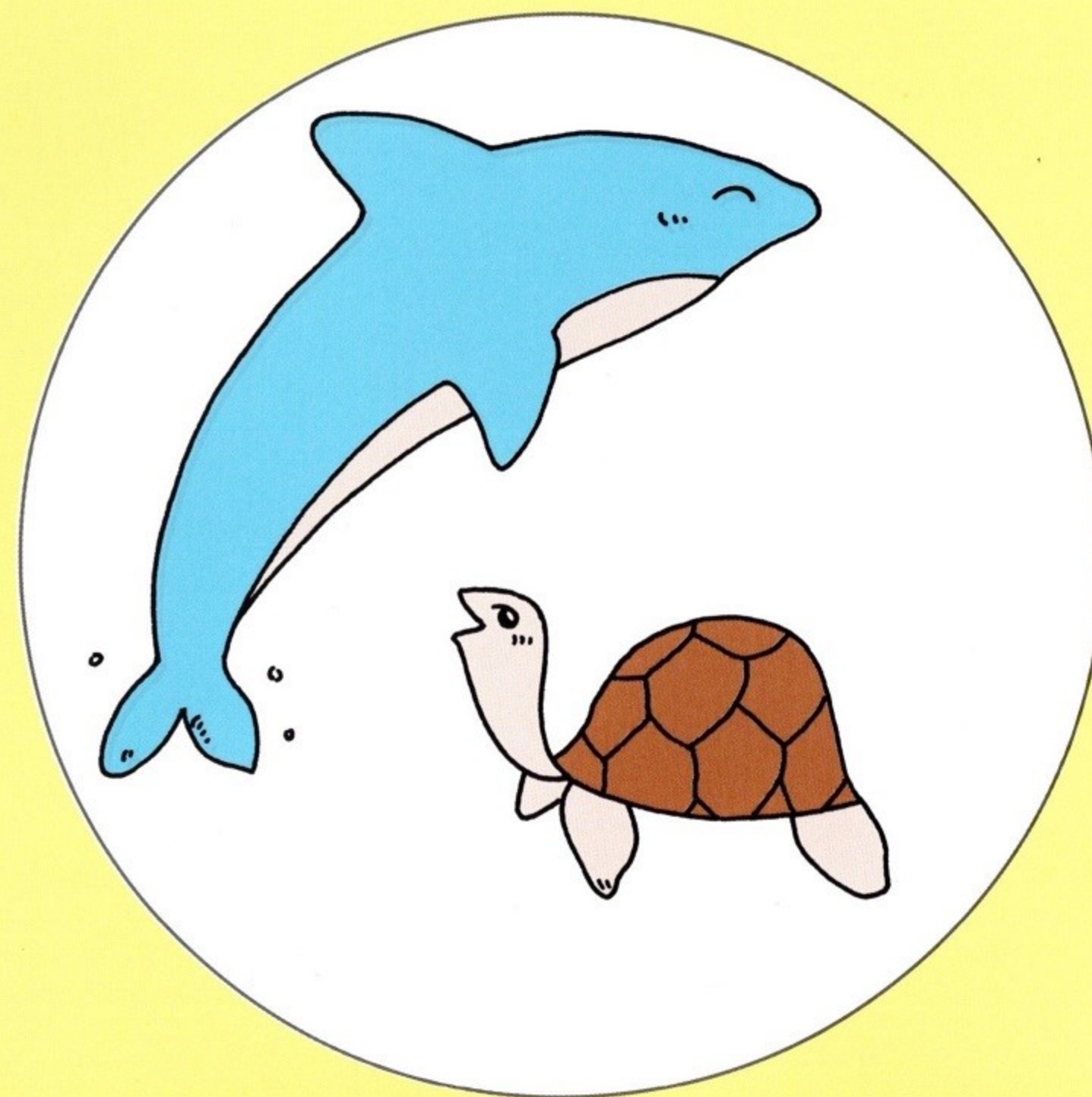


幼児のための知能開発ワーク

すくすくどんどん

10



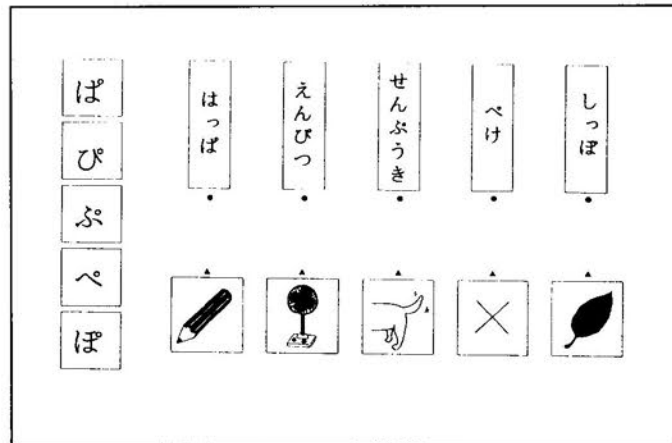
〈 目次 〉 Aシリーズ10号

分野	学習項目	ページ	学習内容
A. 言語	半濁音(ば行)	1	◎半濁音「ば」～「ぼ」の読み
		2	「 [・] 」がつくとどんなことばになるか考える
	拗音(きゃきゅきょ)	3	◎拗音「きゃ」「きゅ」「きょ」の読み
	同尾語(や行)	4	○ひらがなのことばを読んで、それにあう絵を選ぶ
	ひらがな(ら行)	5	
	(わ行)	6	
	しりとり	7	
	反対語	8	○反対語を対にして覚える
	歌	9	「こぶたぬきつねこ」
B. 図形	書く(置き換え)	10	3種類のを、ルールに従って別の印に書き換える
	同図形発見	11	部分と全体、かげ絵
	異図形発見	12	2つの絵を比べて、違っているところをさがす
	欠所補完	13	1/4のパズル
	位置	14	具体的な物での位置
	対称図形(折り紙)	15	2つ折りにして切ってひらく
	対称図形(鏡)	16	文字・数字・時計などのうつり方
	回転図形	17	回転した図形をえらぶ
	図形の合成	18	基本の形を作るには、どの3つを組み合わせるか
	重ね図形	19	2つを重ねた図形をえらぶ
C. 数・量	同数発見	20	○ドッツの数を数字であらわす
	積み木の数	21	○かくれている積み木に注意して、数をかぞえる
	数の多少	22	◎2種類の物の数を数えて、どちらが多いかを判断する
	たし算	23	◎たし算の基礎(たす2～たす9)
	ひき算	24	◎ひき算の基礎(ひく2～ひく3)
	数の分割	25	◎物を2人で分けるといくつになるか考える
	長さ・広さ比べ	26	◎3つ以上のものの長さ・広さ比べ
	3者比較	27	◎3つの物を間接的に比べる方法
D. 記憶	お話の記憶	28	◎個々の要素の關係に着目して、記憶する
	絵・数の記憶	29	
		30	
	位置の記憶	31	
	図形の記憶	32	
	33		
E. 常識	時刻	34	時計の針の動き方に着目して、時刻を理解する
	季節・仲間集め	35	その季節の花・虫・生活
	音・楽器、明るさ	36	音の大きさ・明るさを比べる
	いろいろな場所・店	37	家の中、町の中の場所
	職業・生活用具	38	仕事の内容・用具・場所をむすぶ
F. その他	お話の順序	39	◎2～3枚の絵を、順序を考えて並べる
	系列完成	40	◎2～3種類の物の連続パターン

1

言語／半濁音（ぱ行）①

A10



【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「ば」「び」「ぶ」「ペ」「ぼ」

1. 上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。
2. 上の段のことばで、最後に「ば」のつくものに、赤の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ば」にも、赤の○をつけておきましょう。
3. 上の段のことばで、「び」のつくものに、青の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「び」にも、青の○をつけておきましょう。
4. 上の段のことばで、「ぶ」がつくものに、緑の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ぶ」にも、緑の○をつけておきましょう。
5. 上の段のことばで、最初に「ペ」のつくものに、茶色の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ペ」にも、茶色の○をつけておきましょう。
6. 上の段のことばで、最後に「ぼ」のつくものに、紫の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ぼ」にも、紫の○をつけておきましょう。

【解答】

1. 
2. はっば
3. えんびつ
4. せんふうき
5. ペ
6. しっぼ

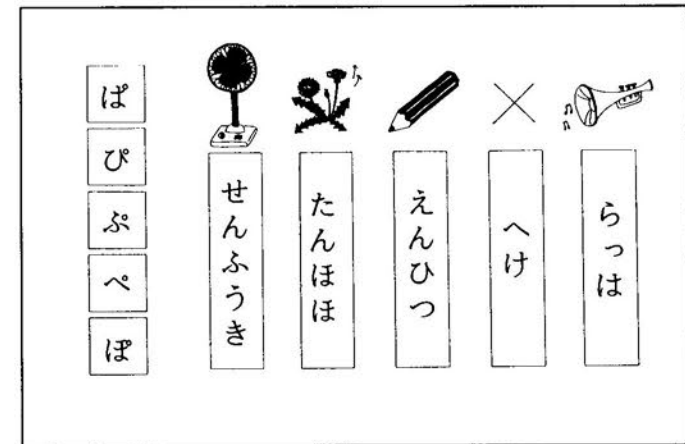
【指導のポイント】

ことばを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせず、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。

2

言語／半濁音（ぱ行）②

A10



【問題】

ここに書いてあることばには、「°」がぬけています。「°」を正しくつけて、絵にあうことばにして下さい。

【解答】

（左から順に）
せんふうき
たんほほ
えんびつ
ペ
らっば

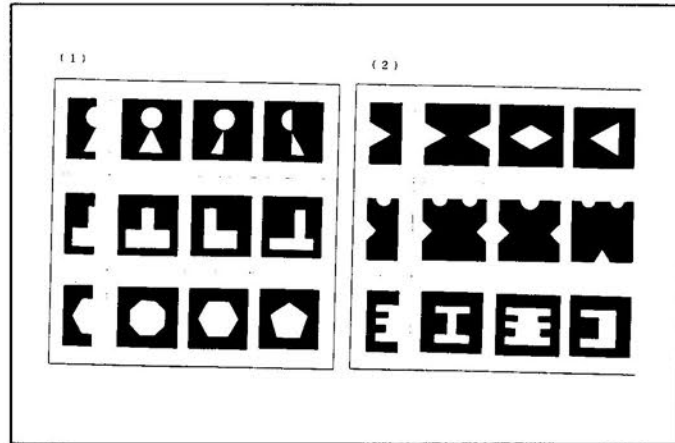
【指導のポイント】

子どもは、このような変な音をととてもおもしろがるものです。子どものことばへの興味をとらえて、「°」をつけると音がかわることをしっかり理解させて下さい。

15

図形／対称図形（折り紙）

A10



【問題】

左の絵は、2つに折った紙からもようを切り抜いたものです。紙を開いたら、どんな形になるでしょう。右から選んで、緑の○をつけて下さい。

【解答】

- | | |
|------------|------------|
| (左上) → 左はし | (右上) → 左はし |
| (左中) → まんち | (右中) → 左はし |
| (左下) → まんち | (右下) → まんち |

【指導のポイント】

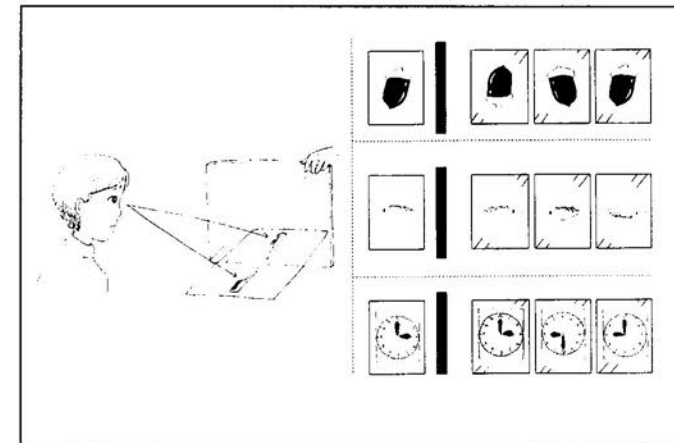
実際に折り紙を折ったり、開いたり、切ったりする経験をたくさんさせて、どんな形ができるか、しっかり観察させて下さい。その経験の中で、思考力が育っていきます。

なお右側の問題では、切りとった部分がどの位置であるか、2つ折りの時と紙を開いた時を比べながら、注意して確認させましょう。

16

図形／対称図形（鏡）

A10



【問題】

黒いながしかくのところに鏡をたてて、左側の絵をうつします。左上から鏡を見ると、どのように見えるでしょうか。右側から選んで、だいで○をつけて下さい。

【解答】

- (上) → まんち
 (中) → 左はし
 (下) → 右はし

【指導のポイント】

実際に、いろいろなものを鏡にうつして見せてあげて下さい。鏡にうつった絵は、左右が逆になることを、子どもにしっかり確認させましょう。

半濁音 (ぱ行)

月 日 なまえ

ぱ

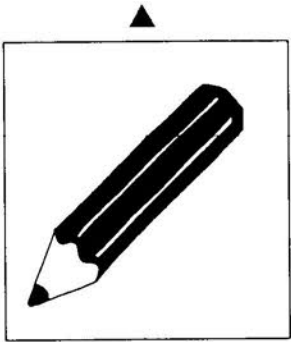
ぴ

ぷ

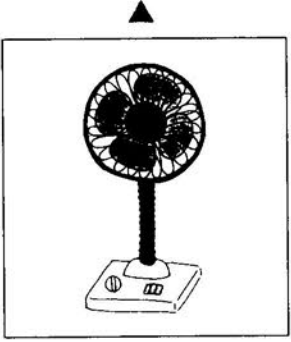
ぺ

ぽ

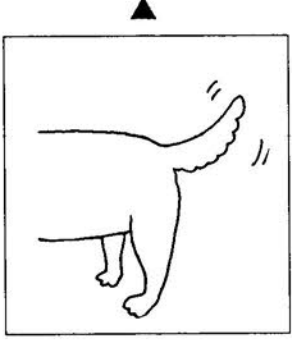
は
っ
ぱ



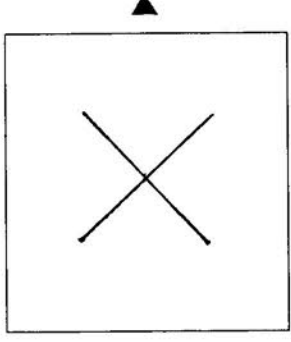
え
ん
ぴ
っ



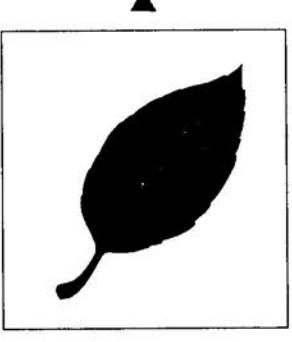
せ
ん
ぶ
う
き



ぺ
け



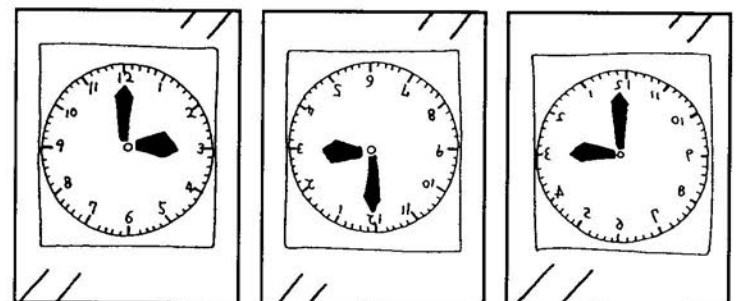
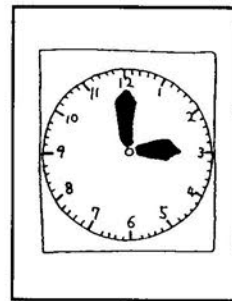
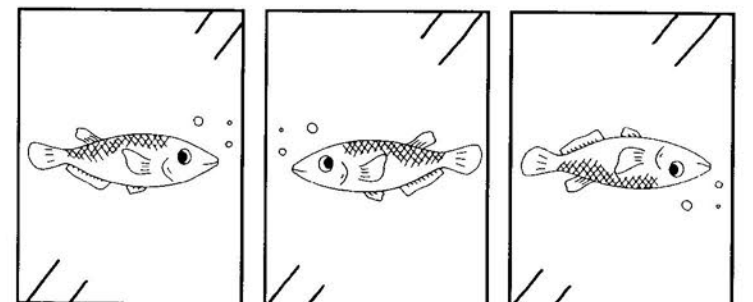
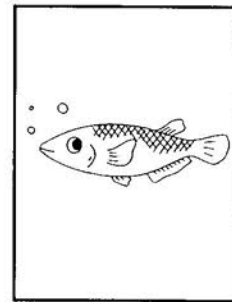
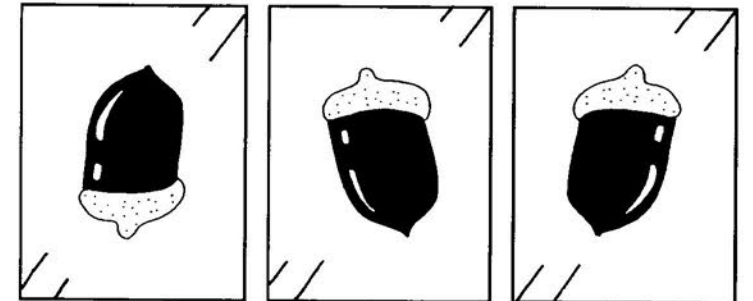
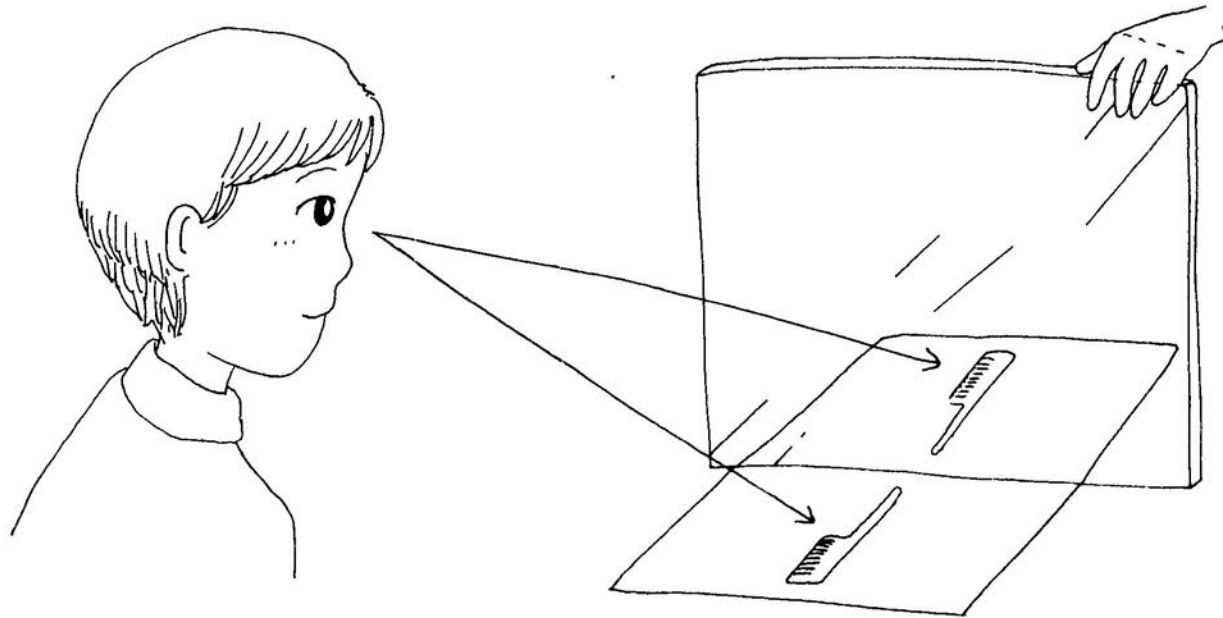
し
っ
ぽ

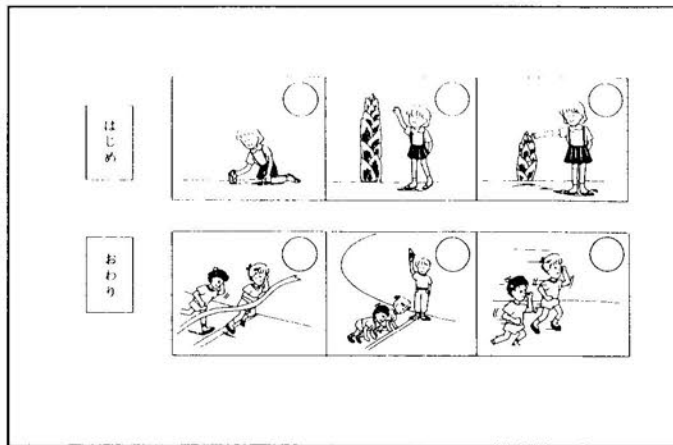


鏡

月 日 なまえ

A-10-16





【問題】

(まず、左側のひらがな「はじめ」「おわり」を読んで復唱させて下さい。)

- この絵は、何をしているところですか。説明してみましょう。
- 「はじめ」という字の方に、茶色で○をつけて下さい。
3つの絵のなかで、いちばん「はじめ」の絵は、どれでしょう。「はじめ」の絵の○に、茶色をぬりましょう。
- 「おわり」という字の方に、黄色で○をつけて下さい。
3つの絵のなかで、いちばん「おわり」の絵は、どれでしょう。「おわり」の絵の○に、黄色をぬりましょう。

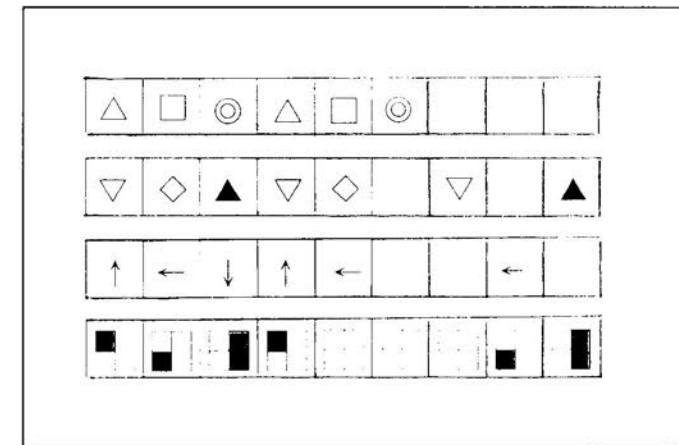
【解答】

- (省略)
- 上→左はし、 下→まん中
- 上→まん中、 下→左はし

【指導のポイント】

3つの絵をよく見比べさせて下さい。かわっているところを見つけさせるとよいでしょう。

答えあわせがすんだら、絵を指さしながら、簡単にお話をしてあげて下さい。



【問題】

2. 3.
絵が順番に並んでいます。あいている所に、ちょうどよい絵をかいて下さい。
- 絵が順番に並んでいます。うまくつながるように、あいている所に、黒で色をぬって下さい。

【解答】

(省略)

【指導のポイント】

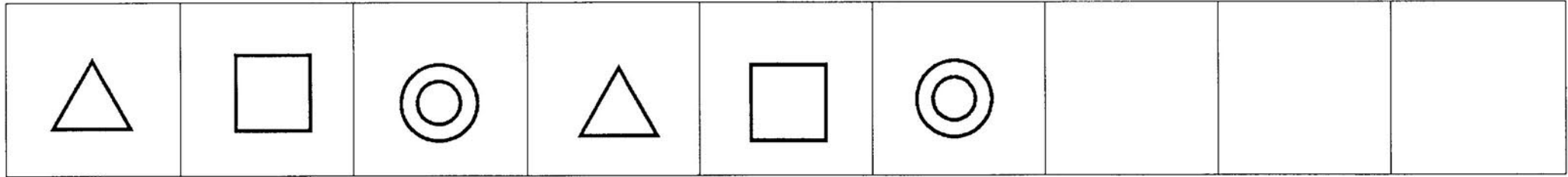
3種類の連続パターンです。「△、□、◎、△、□、◎・・・」と声に出して、並んでいる順番を言わせてみるとよいでしょう。

系列完成

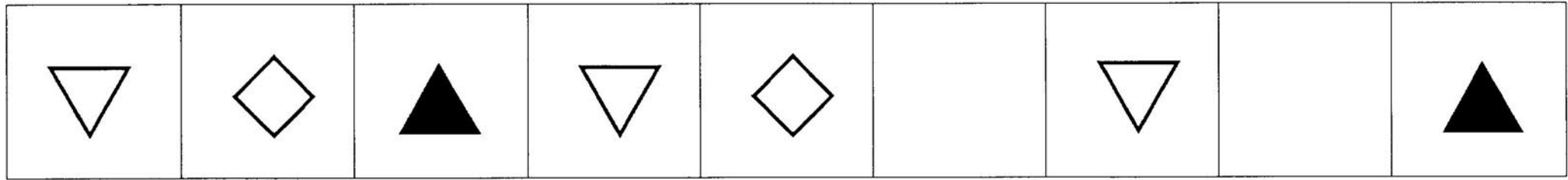
月 日 なまえ

1 0 - 4 0

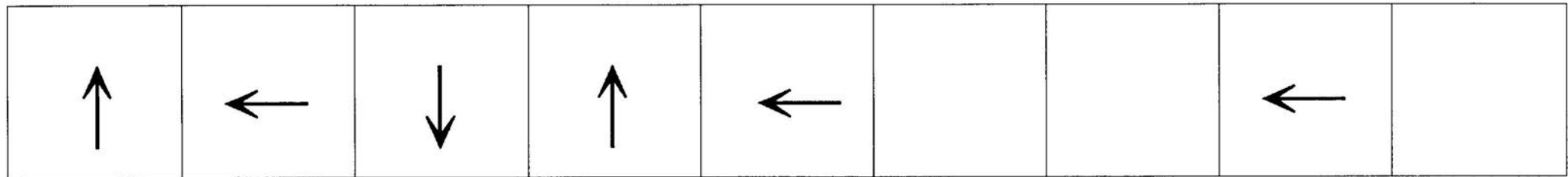
(1)



(2)



(3)



(4)

